

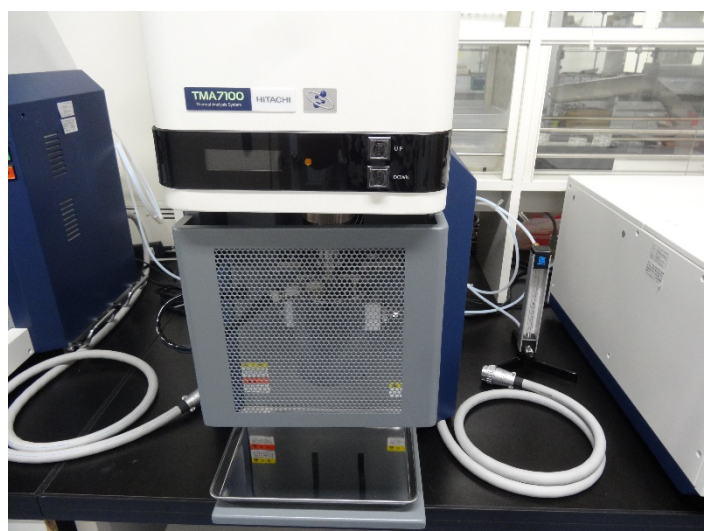
# 熱機械分析装置

## 1. 装置の概要

熱機械分析（Thermomechanical Analysis）装置は、試料の温度を一定のプログラムによって変化させながら、圧縮、引張り、曲げなどの非振動的荷重を加えてその物質の変形を温度又は時間の関数として測定する装置です。試料を加熱、冷却した際の膨張、収縮などの試料変形を測定することで、温度や荷重に対する材料の機械的特性評価、及び、高分子などの応力と歪を温度または時間の関数として測定する熱応力歪測定が可能です。

## 2. メーカー名・装置名称

株式会社日立ハイテクサイエンス  
TMA7100C



## 3. 用途

膨張率、ガラス転移温度、軟化点（融解温度）、伸長・収縮、熱変形温度、応力、歪などの熱分析

## 4. 仕様・構成

測定方式： 全膨張方式

プローブ支持方式： カンチレバー方式

最大試料サイズ 膨張/圧縮測定： 直径 10×L25 mm

引張り測定： W5×D1×L25 mm

SS 測定： W5×D1×L25 mm

測定温度範囲： -150 ~ 600°C

プログラム速度： 0.01 ~ 100°C /min

TMA 測定範囲： ±5 mm

荷重範囲： ±5.8 N